

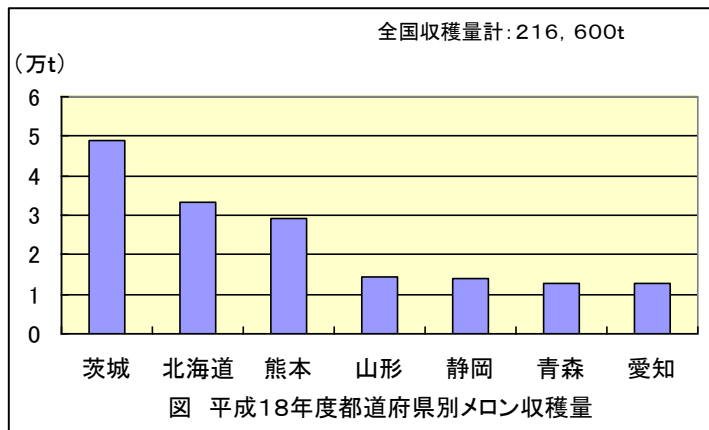
【相手先企業】 亀印製菓株式会社

【メロンの茨城】

茨城県はメロンの収穫量が年間約5万トンで、全国の約23%のメロンが収穫されており、全国一の産地となっています。(右図参照)。特に県内銚田市周辺はメロンの一大産地となっています。

銚田市(旧旭村)で収穫されたメロンの多くは、茨城旭村農業協同組合に集められ、大きさや糖度等一定の規格を満たしているか検査し、検査を通ったメロンのみが

製品として出荷されています。しかし、規格を満たせなかった規格外メロンについては、利用方法があまりなく、新たな活用方法が求められています。



出展: 農林水産省平成18年度「指定野菜に準ずる野菜」の作付面積、収穫量及び出荷量

【開発経緯】

そこでこの規格外メロンの有効利用及び、「メロンの茨城」を積極的にPRするため、平成19年度食料産業クラスター展開事業において、亀印製菓株式会社を中心に「メロン羊羹」の製品開発を下表の実施体制のもと共同で行いました。

当センターでは、製品となるメロン羊羹の日持ち検査等を実施し、メロン羊羹の品質についての評価を中心に行いました。その結果、メロン羊羹は糖度が高いため、微生物類が繁殖しづらい環境になっており、常温においても日持ちの良い製品であることが分かりました。

完成したメロン羊羹は、メロン本来の風味を生かした、やわらかく甘さ控えめな羊羹に仕上がりました。また製品名を、和菓子とメロンの組み合わせから「和メロン」とし、製品化しました。(図1)。

現在、亀印製菓直営店や高速道路サービスエリア等で販売されています。

販売価格	小	1本(230g)	420円
	大	1本(360g)	735円

表 事業実施体制

新製品開発専門分科会構成団体	事業役割
茨城県工業技術センター	メロン製品の品質評価
茨城大学 農学部	メロンの機能性評価
茨城旭村農業協同組合	原材料供給
(株)藤代範雄デザイン事務所	パッケージデザイン開発
株式会社 アムコ	コーディネーター
亀印製菓 株式会社	メロン製品開発
茨城県食品産業協議会	クラスター事務局



図1 「和メロン」

基礎となった事業 平成19年度 食料産業クラスター展開事業

現在の担当部門	地場食品部門	主任	宇津野 典彦	TEL: 029-293-8576
	食品バイオ部門	部門長	長谷川 裕正	